

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	チェンマイ県6郡の30-60歳の女性が、子宮頸がん・乳がんに対する知識を向上させ、定期的な検診を実施することにより早期発見・適切治療を促すことで、両がんによる死亡率を低下させる。
(2) 事業内容	<p>当事業では、3年間で6郡の対象地域での活動を計画しているが、以下は第2期中間報告として、2011年11月2日から2012年3月31日までに2郡で実施した活動について記載する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機器・備品の調達（第2期活動終了） <ul style="list-style-type: none"> 11種類の医療機器・備品を2郡の32病院と移動検診車へ整備。 2. 地域のリーダーへ当事業の説明会（活動継続中） <ul style="list-style-type: none"> 3月6、23日、第3期に活動予定であるサンパトーン郡、ハンドン郡との合同説明会、29日サンパトーン郡にて郡毎の説明会実施。（4月にハンドン郡にて郡毎の説明会実施予定。） 3. 事業オープニングセレモニー（第2期活動終了） <ul style="list-style-type: none"> 11月22日ドーイサケット郡にて、12月7日サンサイ郡にて開催。 4. 教育教材の作成（第2期活動終了） <ul style="list-style-type: none"> パンフレット、記録張、ポスターを作成し、対象者・対象病院に配布。 5. 看護師の研修（第2期活動終了） <ul style="list-style-type: none"> 1月12日、13日に看護師の研修実施。（1日目は講義中心、2日目は実技中心）。 6. 村のヘルスポランティアの研修（第2期活動終了） <ul style="list-style-type: none"> 1月16、17、18日にはドーイサケット郡にて、23、24、25、31日にはサンサイ郡にて村のヘルスポランティアの研修実施。 7. 子宮頸がん・乳がん検診キャンペーン（活動継続中） <ul style="list-style-type: none"> ドーイサケット郡にて計15回、サンサイ郡にて計21回の検診キャンペーンを実施。（年間ドーイサケットにて45回、サンサイ郡にて45回実施予定。） 8. 「がん予防と食事」に関するワークショップ（第2期活動終了） <ul style="list-style-type: none"> 村のヘルスポランティアデーに合わせ、3月19日サンサイ郡にて、20日ドーイサケット郡にて開催。 9. 選ばれた村のヘルスポランティアの特別研修（第2期活動終了） <ul style="list-style-type: none"> 1月27日ドーイサケット郡にて、2月10日サンサイ郡にて村のヘルスポランティアの中から選抜されたボランティアを対象に特別研修実施。 10. モニタリングのための病院訪問（活動継続中） <ul style="list-style-type: none"> 12月14日、ナコンピン病院の医師との会議のため病院を訪問。

<p>(3) 達成された効果</p>	<p>同じく第2期の中間報告として、2011年11月2日から2012年3月31日までに2郡で達成された効果について記載する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドーイサケット郡から30名、サンサイ郡から32名の看護師が研修に参加し、子宮頸がん・乳がんに関する知識と検診技術を向上させた。研修前後の理解度テストを比較すると、ドーイサケット郡では79%から86%に、サンサイ郡では78%から91%に上がった。 1. ドーイサケット郡から計452名、サンサイ郡から計499名の村のヘルスボランティアが研修に参加し、住民たちに伝えられるように子宮頸がん・乳がんの知識を習得した。研修前後の理解度テストを比較すると、ドーイサケット郡では69%から85%に、サンサイ郡では66%から84%に上がった。 2. ドーイサケット郡では対象年齢の女性の15%に当たる2,201名が、サンサイ郡では28%に当たる7,718名が検診キャンペーン等にて子宮頸がん検診を受診した。 3. ドーイサケット郡では対象年齢の女性の16%に当たる2,423名が、サンサイ郡では31%に当たる8,767名が検診キャンペーン等にて乳がん自己触診法を学んだ。(村のヘルスボランティアが村の集会や個別の自宅訪問の際に直接教えたケースも含む。) 4. 子宮頸がん検診によりドーイサケット郡で4名、サンサイ郡で3名の女性に、また乳がん自己触診によりドーイサケット郡で8名、サンサイ郡で5名に異常が見つかった。(子宮頸がんについては細胞診の結果が出るまでに時間がかかるため、今後異常が見つかるケースは増える見込み。)今後、精密検査や治療などが適切に受けられるようにフォローしていく。 <p>第一期の反省を生かし第二期の活動を進めているため、概ね順調に進んでいる。第一期からの改善点の例として、検診受診者のデータ管理を改善する(フォーマットを作成し、月々の検診受診者数を毎月各町病院から提出してもらう)ことで、毎月の人数を把握できている。</p>
<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>今後、研修を受けた村のヘルスボランティアが住民に検診キャンペーンの参加を促した効果が表れ、キャンペーンへの参加人数が増加すると思われる。検診キャンペーンでは、研修を受けた看護師が適切な医療機器・備品を使い検診を実施し、子宮頸がん・乳がんの早期発見を促す。事業が完了するまでに、ドーイサケット郡とサンサイ郡で、それぞれ対象年齢の女性の50%に当たる7,364名、13,994名が子宮頸がん検診を受診することが見込まれる。その他、キャンペーン以外でも村のヘルスボランティアが乳がん自己触診法を女性住民に個別に伝えることも含め、それぞれ対象年齢の女性の70%に当たる10,309名、19,592名が乳がん自己触診法を学ぶことが予想される。検診で異常が見つかった女性が、看</p>

	<p>護師や村のヘルスポランティアによる適切な支援の下、精密検査や治療を受けられるようにフォローしていく。5月の中間会議には今までの成果と改善点について話し合い、それを反映させる形で後半の事業を実施し、10月の年次会議では1年間のまとめを行い、第3期の活動への教訓を導き出す。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------